

## 大阪大学 ASEAN キャンパスの概要

大阪大学ASEANキャンパスにおいては、生物工学、応用物理、感染症、環境工学、ハラルサイエンス、生物多様性・生物資源、日本語・日本文化等の分野において、高度グローバル人材を育成することにより、ASEAN各国の社会や文化に根差した形での課題解決に貢献するとともに、国際産官学民共創等の新機軸による社会基盤を整備することを目指しています。

また、現地大学との強固な連携のもとに整備した施設において、海外にいながらにして大阪大学と同水準の教育・研究を行うことにより、幅広く意欲のある優秀な学生を募り、本学の大学院や日系企業に送り出すことが可能になります。

これまで本学がASEAN諸国との間に培ってきた人的ネットワークを拡大し、現地大学との連携を一層発展させることにより、グローバル課題の解決に貢献します。



大阪大学 ASEAN キャンパス

Osaka University

A S E A N  
C a m p u s

## 大阪大学 未来基金について

大阪大学では、大阪大学未来基金を設置し、募金活動を行っております。大阪大学ASEANキャンパス支援事業は、大阪大学未来基金のプロジェクトの1つとして設置され、皆様からのご寄附を募っております。当事業への寄附金は、大阪大学ASEANキャンパスの設置推進及び国際共同学位プログラム実施に係る学生支援等に使用させていただきます。

卒業生をはじめ、ASEAN進出にご関心のある企業、現地日系企業等の皆さまにおかれましては、大阪大学ASEANキャンパス支援事業への温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ご寄附の方法

[www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/project/asean-campus/](http://www.miraikikin.osaka-u.ac.jp/project/asean-campus/) から

法人の皆さま

専用の申込書がございますので、大阪大学未来基金事務局までお問い合わせください。

担当 国際部国際企画課国際連携係 ☎06-6879-4017

大阪大学は、

ASEAN地域における知識共創社会を先導し、

当該地域の「質の高い成長」を実現するための

高度グローバル人材の育成を目的として、ASEAN各国に

大阪大学ASEANキャンパスの設置を進めています。

# ASEAN キャンパス構想

～ASEANと日本の次世代を担う

先導的・高度グローバル人材の育成と「質の高い成長」への貢献～

ASEAN4か国に設置する大阪大学ASEANキャンパスの共同研究ラボを基軸とした最先端研究と複合領域専門教育を両輪とし、遠隔講義主体の海外サテライトキャンパスでは達成できない高度な研究能力と汎用力を養成します。

また、ネットワークを活用した日本及びASEANにおける頭脳循環活性化によって科学技術イノベーションを推進し、SDGsや地球規模課題などASEAN地域の課題解決を目指します。



## タイキャンパス マヒドン大学



### ○工学バイオ・医療バイオ分野

- ・生理活性物質(抗生物質など)の探索、開発
- ・抗ウイルス剤・診断薬の開発
- ・動物細胞・植物細胞を用いたワクチン生産
- ・メタボローム技術による食品の品質管理

### ○日本語・日本文化分野

日本語を基軸言語とした

- ・言語教授法研究
- ・第二言語習得研究
- ・談話分析

### ○ASEANキャンパス全体に関わる 日本語学習支援プログラムの展開

- ・集中日本語コースの開講
- ・フォローアップのための日本語遠隔授業の実施



## インドネシアキャンパス バンドン工科大学



### ○応用生物分野

- ・食品、飼料、医薬品、農業などの有用物質の探索と生産理論の確立
- ・新しい生物機能の開発
- ・環境浄化システムの開発

### ○量子エンジニアリング分野

- ・コンピューターシミュレーション・マテリアル・デザイン研究の実施
- ・新規物質の物性や機能の予測
- ・電子状態計算手法やシミュレーションプログラムの開発



## ベトナムキャンパス ベトナム科学技術アカデミー



### ○環境学分野

- ・大気質モデルの研究
- ・環境動態モデルの開発

### ○応用物理学分野

- ・バイオデバイスの研究
- ・レーザー応用技術の開発

1 3Q(Quality of Life/Nature/Technology)を基本にした質の高い成長への貢献

2 ASEAN地域での長年の教育・研究実績を現地高度人材育成に結実

3 国際産官学民共創等の新機軸による社会実装基盤整備

4 現地/日系企業を含めたイノベーション・ネットワークの構築による新たな価値の共創

5 生物工学、応用物理、感染症、環境工学、ハラールサイエンス、生物多様性・生物資源、日本語・日本文化等の分野における国際共同学位プログラムの実施

## ブルネイキャンパス



ブルネイでは、首相府・教育省が総括する3大学との連携を構築しています。

### ○薬学分野

- ・有用生物資源開発
- ・環境保全・浄化・再生技術の開発

### ○生物工学分野

- ・ハラールサイエンス
- ・生物多様性の解析・保護
- ・高度食品・環境分析技術の開発



### ブルネイ・ダルサラーム大学



### スルタン・シェリフ・アリー・イスラミック大学



### ブルネイ工科大学